

設 計 書

施 工 年 度	平 成 29 年 度
工 事 番 号	
事 業 名	
工 事 名	都市公園等遊具施設保守点検業務委託
路線名・河川名等	
工 事 場 所	松阪市 五十鈴 町 外 地内
工 事 費	工事価格 円
	円 内
	消費税相当額 円
—	国費 円
	(内訳) 市費 円
設 計 者 氏 名	森 和美
工 期	日 間 平 成 30 年 3 月 23 日 限 り

工 事 概 要			
都市公園	414 箇所	(内、遊具施設	162 箇所)
都市緑地	4 箇所	(内、遊具施設	3 箇所)
その他公園	20 箇所	(内、遊具施設	9 箇所)
合計	438 箇所	(内、遊具施設	174 箇所)

積 算 世 代	平 成 29 年 4 月 1 日
---------	------------------

業 務 委 託 内 訳 表

[illegible]

都市公園等遊具施設保守点検業務委託仕様書

1. 保守点検業務については、平成 29 年 5 月から平成 30 年 3 月までの 11 箇月間とする。
2. 点検は別紙に示す都市公園、都市緑地、その他公園の遊具及び公園施設とする。

・都市公園	414 箇所	(内遊具設置	162 箇所)
・都市緑地	4 箇所	(内遊具設置	3 箇所)
・その他公園	20 箇所	(内遊具設置	9 箇所)
合計	438 箇所	(内遊具設置	174 箇所)
3. 点検の日程については、年間及び月間の作業計画を作成し、遊具が設置してある公園等（174 箇所）については毎月点検を行なうものとする。

ただし、平成 29 年 7 月と平成 30 年 1 月については安全検査を行う点検とする。

また、平成 29 年 5 月及び 10 月の点検については、全公園（437 箇所）を行なうものとする。
4. 点検内容については、下記指針に基づき点検を行うと共に、遊具等の全体及び各部位（表面、接続部、接続金具、支柱、基礎部、着地部など）を目視、触診、聴診、打診等により、腐食や腐朽、変色、磨耗、疲労、経年による劣化等の状態を確認する。
 - ・都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂第 2 版）

〔平成 26 年 6 月・国土交通省〕
 - ・都市公園における遊具の安全確保に関する指針（別編：子どもが利用する可能性のある健康器具系施設）〔平成 26 年 6 月・国土交通省〕
5. 点検作業終了後は、ただちに各公園及び各施設別の点検結果報告書を作成し、土木課公園係に提出すること。（書式等については事前に打合せをおこなうこと。）

また、前回点検時より結果が悪化した施設については、各施設の写真を 1 部、点検結果報告書と併せて提出すること。

業務完了時においては、各公園及び各施設別の点検結果報告書の電子データを提出すること。
6. 点検の結果、遊具、施設等の利用が危険であると認められる場合はその場で利用禁止の処置を行ない、処置後、ただちに土木課公園係へ連絡すること。

（連絡先：電話 0598-53-4167、FAX 0598-26-8184）
7. 安全検査を行なう点検については、検査状況写真、検査結果を報告書にて提出すること。

検査内容については次のとおりとする。

- ① 鋼物膜圧測定 ② 鋼物減肉検査 ③ 骨格検査 ④ エンドリンク測定
- ⑤ 音響検査 ⑥ 目視検査

8. トイレの点検については行なわない。

9. 砂場については砂の量及び施設の点検のみとする。

10. 各公園の遊具及び施設全ての写真撮影を、平成 29 年 6 月の点検時までに行い、電子データにて提出すること。

撮影写真は、1 枚あたり 100KB～200KB 程度のデータ容量とし、公園及び施設が分かるようにフォルダー等により整理し提出すること。（撮影写真は 100 万画素以下でも可。）

11. 業務の着手にあたり、業務に必要な手順や点検及び検査内容、点検等の基準、業務上の管理等についての業務計画書を、監督員に提出すること。

12. 作業完了前の部分払いは、請求があった場合、年 1 回とし 9 月点検報告後とする。（支払い方法については契約書による。）

13. 緊急な事故等が発生した場合は、速やかに土木課に連絡すること。

14. 作業員等の雇用条件、賃金の支払い状況、作業環境を十分に把握し、適正な労働環境を確保しなければならない。

なお、賃金の支払い状況において、従事者から未払い等の申し出があり、発注者が必要と認める場合は、その状況を確認できる資料を提出すること。

また、必要に応じ労働基準監督署等の関係機関へ照会、通報することができるものとする。